

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
廿日市市立宮内小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級						特別支援学級	合計	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
学級数	3	3	3	3	3	3	18	5	23

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
理科	6	3	3	9	
理科	5	3	3	9	

授業時数 計 18 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
理科	4	1	3	3	

授業時数 計 3 (b)

授業時数 合計 21 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 1組 (担任: A)	A	A	C	B	推進	専科	C	A	A	A	A	A	A
6年 2組 (担任: B)	A	A	C	B	推進	専科	C	B	B	B	B	B	B
6年 3組 (担任: C)	A	A	C	B	推進	専科	C	C	C	C	C	C	C
教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: D)	F	F	D	E	推進	専科	D	D	D	D	D	D	D
5年 2組 (担任: E)	F	F	D	E	推進	専科	D	E	E	E	E	E	E
5年 3組 (担任: F)	F	F	D	E	推進	専科	D	F	F	F	F	F	F
教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	外国語活動	総合	特別活動	
週当たり標準授業時数	7		2.6	5	3	1.7	1.7	3	1	1	2	1	
4年 3組 (担任: G)	G	専科	G	G	推進	専科	G	G	G	G	G	G	

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数(d)	授業時数の合計(c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
6-1	29	A	6-2	国語	4	10	15.2	25.2
			6-2	書写	1			
			6-3	国語	4			
			6-3	書写	1			
6-2	29	B	6-1	算数	5	10	15.2	25.2
			6-3	算数	5			
			6-1	社会	3			
6-3	29	C	6-2	社会	3	8.8	14.6	23.4
			6-1	社会	3			
			6-2	図工	1.4			
			6-2	図工	1.4			
5-1	30	D	5-2	社会	2.9	8.6	14.6	23.2
			5-3	社会	2.9			
			5-2	図工	1.4			
			5-3	図工	1.4			
5-2	29	E	5-1	算数	5	10	15.3	25.3
			5-3	算数	5			
5-3	29	F	5-1	国語	4	10	15.3	25.3
			5-1	書写	1			
			5-2	国語	4			
			5-2	書写	1			

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉
① ③ 学年内で教科を分担し、交換授業を行う。 ④ う。
② 空き時間を利用して、複数でクラスを指導する。



〈成果〉
① 担当する教科が減るので、教材研究や授業準備に余裕がもてた。複数クラスで同じ内容の授業をすることで、授業改善を生かすことができた。
④
③ 中学校に向けて、多くの教員に指導を受ける機会になった。
② 複数の教員で児童を見ることで、児童の特性の多面的な理解につながった。必要に応じて複数での指導ができた。学年団で情報交換(共有)するときに、みんなが児童とかかわっているのので、具体的な話がしやすく、よりたくさん情報を共有するとともに、共通理解が進んだ。

〈課題〉
⑤ 予定変更や時数調整の際の時間割変更が難しい。クラスにより祭日などで授業数に差が出るが、他の曜日などでの調整が困難。
⑤ 担任にとって自分のクラスの子どもたちのつまづきが分かりにくい。



〈対策〉
⑤ 年度当初に、教科による時数の差や曜日ごとの祝日等の有無を考慮に入れながら時間割が編成できるようにする。
⑤ 主要教科(国語・算数)は担任が担う。(主要教科を担任が担い、専科の授業を増やす⇒空き時間が増えて負担軽減)